

商工研提携セミナー

対象者 取締役・執行役員などの
経営幹部

グループ討議・演習を中心とした、3日間で学ぶ役員の基礎知識

日本生産性本部主催

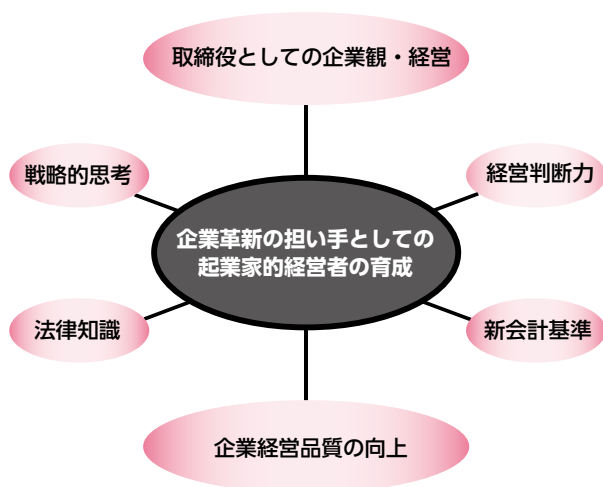
取締役・執行役員研修

合宿 2泊3日
(18時間)

期待される効果

取締役・執行役員に必要な知識（経営戦略の概念と思考、法務、財務会計、企業倫理等）を修得できます
取締役・執行役員としてのマインドセットが備わり、行動変容につながります
異業種他社の経営幹部との討議や交流を通じて、異なる視点や考え方、ネットワークが得られます

プログラム構成



受講者の声

- 会社の進むべき方向、ステークホルダーとの関係、具体的な企業戦略の展開など、今後の自己改革に役立つ内容だった。
- 実践に裏付けられた講義は非常に興味深く、極めて示唆に富んでいた。
- 「役員の財務」はとてもわかりやすく、大変参考になった。
- 単なる講話ではなく「役に立つ」、「内容のある」講義が有益だった。
- 法務、財務の専門性の高い講義と、経営戦略のケース研究は大変参考になった。

開催日程とスケジュール

合宿 2泊3日
2025年

第150回 7月16日(水)～18日(金)
第151回 9月17日(水)～19日(金)
第152回 11月19日(水)～21日(金)
第153回 12月17日(水)～19日(金)

2026年

第154回 2月18日(水)～20日(金)

京都開催日程

(関西生産性本部との共催)

第11回 10月15日(水)～17日(金)

福岡開催日程

(九州生産性本部との共催)

第9回 8月20日(水)～22日(金)

第1日

9:00	
12:30	13:00 開始
13:30	オリエンテーション
19:00	1. 取締役・執行役員としての法律知識 ・新会社法の概要 ・取締役・執行役員の法的リスク ・委任と法令に基づく責任 ・執行役員の法的側面 【講義】 2. ワークショップ 〈経営戦略：ケーススタディ〉 ケース例：「アップルコンピュータ」 「ユニクロ」 「富士ゼロックス」他 【グループ討議】
21:00	【経験交流（懇親会）】

第2日

3. 経営戦略 (戦略の視点と意思決定) ・経営戦略の構造 ・ロジックと意思決定 ・全社戦略と競争戦略 【ケース全体討議と講義】	4. 経営分析と財務戦略 (経営分析と財務・経営指標) ・財務諸表の構造・剰余金 ・キャッシュフロー分析・連結会計分析 【講義と演習】 5. 企業倫理と企業統治 ・経営倫理の概念とリスク ・トラブル事例と防止策 ・企業内展開の方法 ・役員としての役割 ・企業統治とガバナンスコードの概要 【講義と演習】
【経験交流（懇親会）】	【経験交流（懇親会）】

第3日

6. これからの企業経営と 取締役・執行役員への期待

【講義と経営者との討議】

- 経営者の方と参加者で討議し、
今後の経営について考察を深
めます

【出講講師実績】

- ・クラレ
相談役（前会長）
和久井康明 氏
- ・ヤマトホールディングス
特別顧問 有富 慶二 氏
（ヤマト運輸 元会長兼元社長）
- ・前エルピーダメモリ
社長 坂本 幸雄 氏
- ・味の素
特別顧問 山口 範雄 氏
- ・良品計画
前代表取締役 会長
松井 忠三 氏 他

12:00 終了

※経験交流は事前の社会状況をふまえ、開催を見合わせる場合がございます。

	商工研会員	一般（参考）	
1名あたり参加費 (消費税10%込)	209,000円	231,000円	※うち宿泊費・食事代等 5万円程度

講師：アサミ経営法律事務所 代表弁護士 浅見 隆行／
早稲田大学教授 浅羽 茂／
企業行動研究センター所長 菱山 隆二 他
会場：相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明（東京・有明）他
定員：60名

プログラム概要

●第1セッション：取締役・執行役員としての法律知識（新会社法準拠）

★会社役員として遭遇する法律全体像・法定責任の分離・会社の構成（会社の分類・機関・株主総会・取締役会・取締役・執行役員の法的地位・法的義務・法的責任・法務から見たコンプライアンス・内部統制）

【関係法規】

会社法、商法、労働法、金融商品取引法、コンプライアンスと内部告発、内部統制、インサイダー取引規制、IR、独占禁止法、下請法等・事例研究

★方法：講義・判例事例研究

●第2セッション：ワークショップ（参加者間のケース討議）

多角化や企業革新に関するケースを分析し、トップ・マネジメントとして如何なる意思決定をしていくことが望ましいか、企業が進むべき方向に関する重要な戦略的意思決定の理論を考察します。

★戦略の策定と実行のプロセス

★経営者の役割・リーダーシップ

★競争戦略、等

●第3セッション：経営戦略（戦略の視点と意思決定）

ケース研究を踏まえ、変革期における企業戦略とその起業家的経営者としてのトップ・リーダーシップのあり方、戦略策定能力・意思決定力の質的向上をはかります。

★経営戦略とは何か、戦略フレーム、戦略的視点・企業（全社）戦略、事業の定義（ドメイン）・多角化戦略・分化と統合（Make Or Buy）SWOT 分析・PPM・成長ベクトル・競争（事業）戦略：業界構造分析・競争の基本戦略（コストリーダーシップ・差別化・集中化）・戦略ドライバー・バリューチェーン・ビジネスモデル

★方法：講義とケース討議（企業戦略と競争戦略の2つのケースを使用）ケース討議（ケースメソッド）

●第4セッション：経営分析と財務戦略

企業価値を数字で把握することは経営の基本です。ここでは、連結会計やキャッシュフロー、税効果会計も含めて、企業の経営成果や株主重視の経営、企業価値のマネジメントや経営指標の活用方法について、そのポイントを習得します。

★BS/PL 評価

★キャッシュフロー計算書

★連結会計

★経営指標活用（ROE/ROA/EVA/CFROI）

●第5セッション：企業倫理と企業統治

他社事例、演習を交えながら企業倫理が求められる背景、倫理的企業文化確立のための経営者の役割について考えます。

★企業倫理の必要性

★企業統治とガバナンスコードの概要 等

★危機管理・不祥事リスク防止

★企業倫理制度化事例・仕組み

●第6セッション：これからの企業経営と取締役・執行役員への期待

「今後の経営に関して経営者として考えるべきテーマ・課題」についての参加者討議を行い、出講経営者の講義と全体討議により、取締役・執行役員に求められる行動指針を明確にします。

*議論テーマ例：

「経営環境の変化の中で常に変革を行い、企業価値を向上させるにはどうしたらよいか」「企業価値の向上、イノベーション創出への経営者の役割と企業統治確立の方法」等

主な過去派遣企業

ウシオ電機、オムロン、キッセイ薬品工業、共同印刷、ジャコエンジニアリング、住友ゴム工業、第一貨物、第一法規出版、帝人、トピー実業、日新製糖、日本コムシス、日本ユニシス、三井造船、明治安田生命、安田不動産、関電工、タカラ、ニッキ、日本水産、日立ハイテクノロジーズ、ホンダエンジニア、マルエツ、第一実業、日本電波工業、埼玉りそな銀行、日本原子力発電、NTTドコモ、片岡物産、日本金属、オートバックスセブン、石油資源開発、高砂香料工業、豊田合成、ニチレイロジグループ本社、日産テクノ、日本製紙ケミカル、横河電子機器、三菱地所ビルマネジメント、大塚家具、かんぽ生命保険、TDK、他多数。（年間 200 社、250 人以上）